

搬入後、正しく施工していただくため、必ず本説明書を商品に添えて取付施工者の方へお渡しください。

イペ材門扉・イペ材門扉レグナ 組立説明書

このたびは当社製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
本製品を正しく御理解いただくために、この説明書をよくお読みください。

施工終了後、施主様に本説明書をお渡しください。

施工される方へのお願い

- ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
- 同梱されている取扱説明書は、商品の使い方や、保守・点検方法およびメンテナンス方法を説明後、必ず施主様へお渡しください。

▲ 注意

製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〈設置上の注意事項〉

- 1) 本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- 2) 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- 3) 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 4) 寒冷地で凍上するおそれがある地域でのご使用の際には、凍上線の下まで基礎を設けてください。

〈施工上の注意事項〉

- 1) 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 2) 指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け）をしないでください。
- 3) 水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。
- 4) 指定の組立てねじ・ボルトは指示に従って全て確実に締めてください。
- 5) 指定の部品およびオプション品以外は、使用しないでください。
- 6) 材料が固いので、ビスの取り外しを繰り返すと下穴が緩くなったり、ビスが折れる場合があります。
- 7) 基礎には当社指示寸法以上にしてください。
- 8) コンクリート養生期間は十分（4～7日）にとり、養生期間中は重い物をのせたり、震動させたりしないよう支持してください。
- 9) 基礎には海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
- 10) 凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食する恐れがあります。

イペ材は、屋外での耐久性が高く、防虫、防腐剤を使用する必要がないので、無塗装でも滑らかで美しい木肌を長期間保つことができます。また、木目が密で硬質なため傷がつきにくいので公共事業などでも数多く使用されています。

施主様へのお願い

- 1) 当社指定の付属部品以外は取付けないでください。
- 2) ボルト・ナット・ねじなどは絶対にゆるめないでください。
- 3) 木製品ですから経年変化があり色あせや細かいヒビがはいることがありますが、強度に問題はありません。
- 4) 汚れた場合は水を湿らせた布でふきとってください。

施工業者へのお願い

イペ材門扉レグナは、天然木に塗装を仕上げてあり、出荷時には十分に乾燥をさせております。

しかし、天然木は常に呼吸しており、保管には注意が必要です。

現場に置いておかれる場合、雨天時にシート等をかけておきますと、シート等が接触する部分と雨のかかる部分で条件が異なり、一部色むらが出る場合がありますので、出来れば施工まで濡らさないようにして下さい。

なお、施工後は全面的条件が同じになりますので、色むらにはなりません。

以上、よろしくお願い致します。

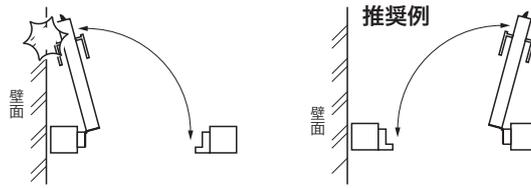
■ 使用工具

1. 電気ドリル及びキリ2.5φ、3.8φ（3.8φは同梱してあります）5φ
2. ソケットレンチ、モンキースパナ、シャコ万
3. 充電ドライバー・電気ドライバー又は、プラスドライバー及びボックスドライバー
4. スケール・水準器・下げ振り・カッター
5. 切断機又は、鋸
6. 基礎部仕上げ必要工具及び資材等一式（スコップ・セメント・砂 その他）
7. その他必要に応じて工具・資材を用意してください。

1. 柱の固定

イベ扉は重いので下図の柱内～内寸法及び、柱高さ寸法を確認のうえコンクリート基礎で固定してください。固まらない状態で扉の取付けを行いますと扉がたれ開閉に支障がでますので注意してください。

注意：壁面の側に施工される場合、下図の様に扉の開閉時に壁面に接触する場合があります。状況に応じて開き勝手をご確認ください。

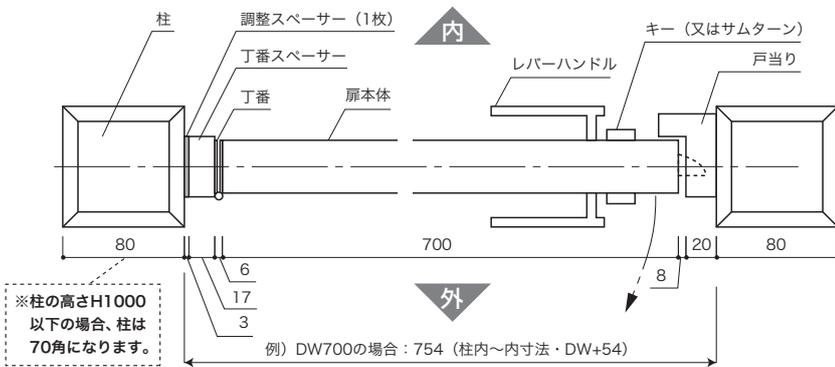


ドア納まり図

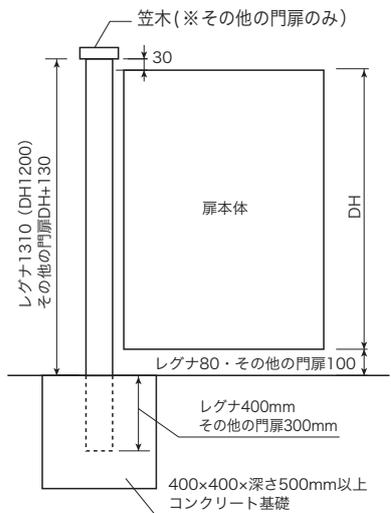
丁番スペーサー・戸当りの取付の向きによって開き勝手が異なります。必ず施工状況に合った納まりを確認の上、施工を行ってください。

※なお下図では省略しておりますが、イベ材門扉の場合、柱上部に120×120×t30の笠木がつきます。(イベ材門扉レグナにはつきません)

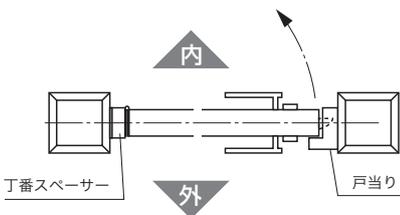
● 左吊元・外開き



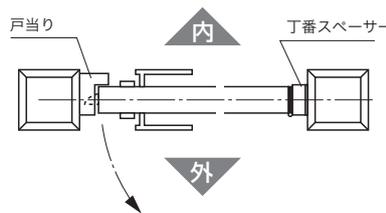
● 柱基礎と扉取付位置



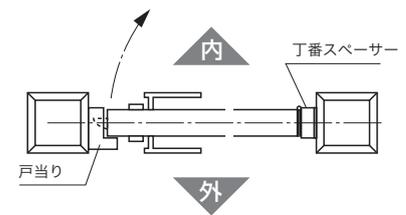
● 左吊元・内開き



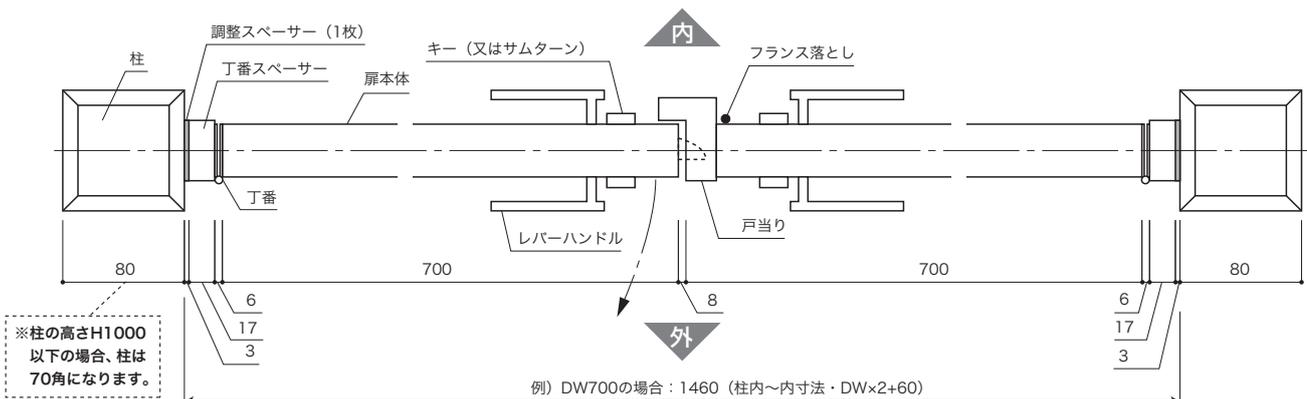
● 右吊元・外開き



● 右吊元・内開き

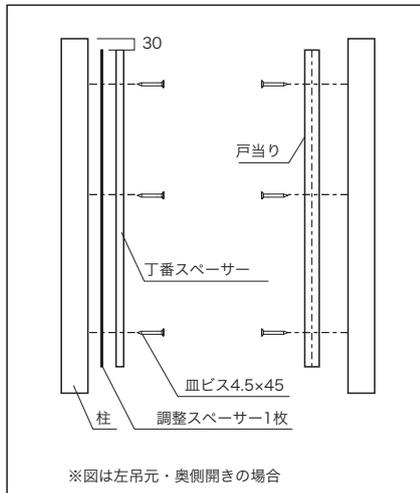


● 両開き右固定外開き



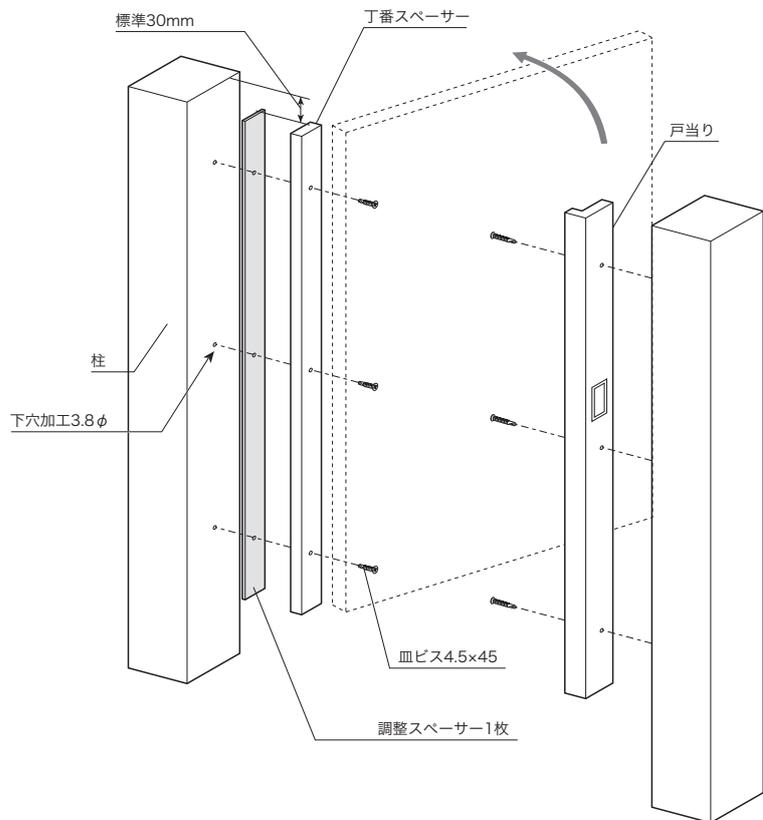
2. 丁番スペーサー・調整スペーサーと戸当りの取付

右図を参考に各々取付位置を確認し予め加工済みの取付皿穴に合わせて柱に3.8φ深さ30mm以上の下穴加工を施してください。4.5×45の皿ビスで丁番スペーサー・調整スペーサーと戸当りを柱に取付けてください。



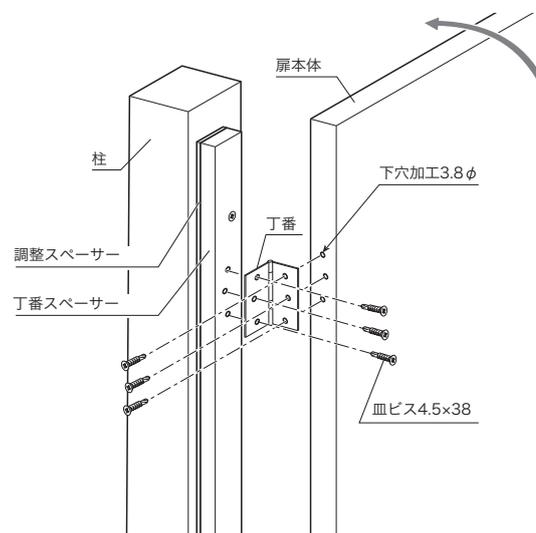
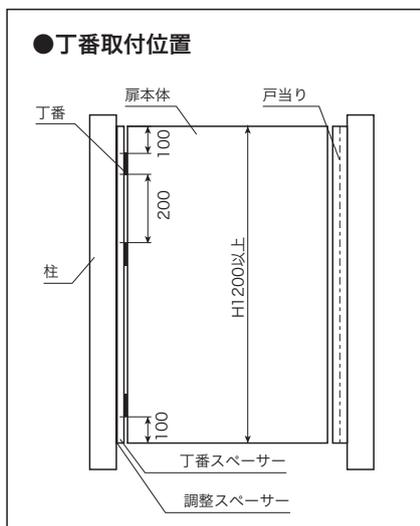
※下図では省略しておりますが、イペ材門扉の場合、柱上部に120×120×t30の笠木がつきます。(イペ材門扉レグナにはつきません)

注意：ビスは締めすぎるとおれる場合がありますのでビスの皿面が密着し動かない程度に締めてください。



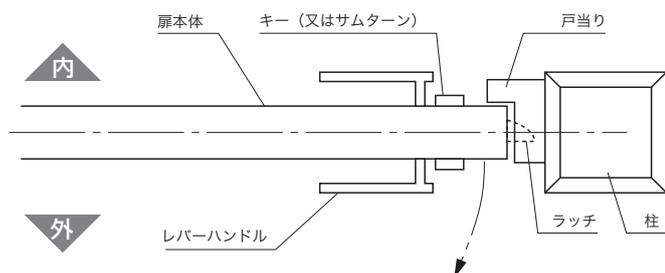
3. 丁番の取付

右図を参考にドア本体及び、丁番スペーサーに3.8φ深さ40mm以上の下穴加工を施し、4.5×38の皿ビスで丁番を取付けてください。



4. レバーハンドル錠もしくは取手錠の取付

同梱のレバーハンドル錠の取付説明書を参照の上レバーハンドル・サムターンをドアに取付けてください。尚、取付時には、開き勝手によるラッチの向きに注意してください。

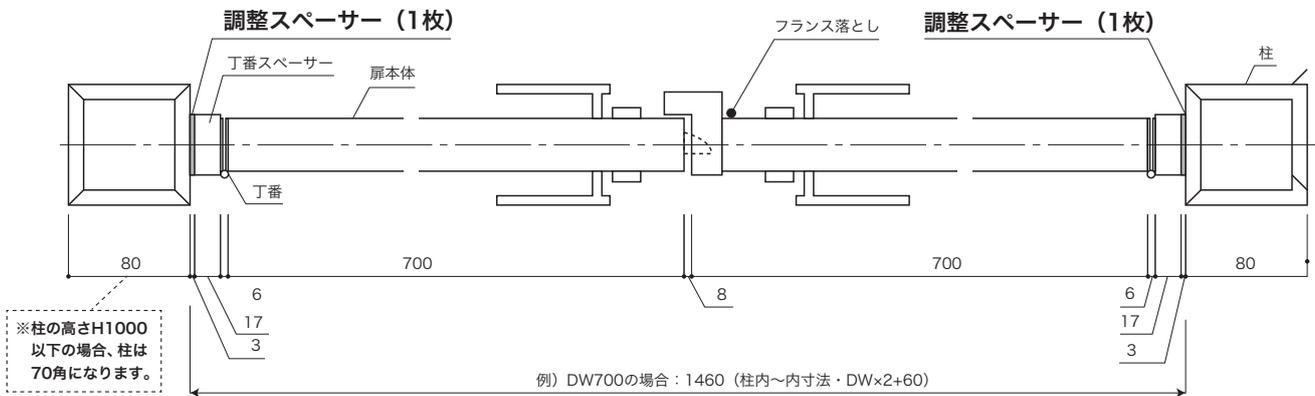


※下図では省略しておりますが、イベ材門扉の場合、柱上部に120×120×t30の笠木がつきます。(イベ材門扉レグナにはつきません)

5. 扉の調整

取付完了後、扉の調整が必要な場合は下記を参照にして調整してください。

扉の位置を調整するために1箇所あたり3mmの厚さのスペーサー2枚が同梱しており、
 図面の取付寸法は1枚取り付けた寸法となっています。このスペーサーを追加したり
 取り外したりすることによって現状から±3mm調整できます。



① 扉と柱の隙間を広くしたい場合

取付けビスをはずしスペーサーをはずすと3mm広くなります。

② 扉と柱の隙間を狭くしたい場合

同梱のスペーサーを溝に追加し扉をつけると3mm狭くなります。

扉と柱の隙間の上下の差を調整したい場合はスペーサーを切断して上下どちらかのみ100mm程度取付けてください。

③ 扉と柱の上だけ隙間を広くしたい場合

スペーサーをはずし切断し、下だけ長さ100mm程度取付けると上だけ3mm広がります。

④ 扉と柱の上だけ隙間を狭くしたい場合

同梱のスペーサーを切断し上だけ長さ100mm程度重ねて取付けると上だけ3mm狭くなります。

⑤ 扉と柱の下だけ隙間を広くしたい場合

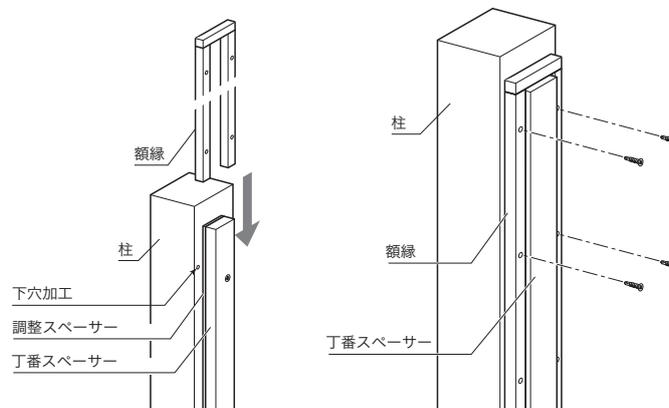
スペーサーをはずし切断して上だけ長さ100mm程度取付けると下だけ3mm広がります。

⑥ 扉と柱の下だけ隙間を狭くしたい場合

同梱のスペーサーを切断し下だけ長さ100mm程度重ねて取付けると下だけ3mm狭くなります。

6. 額縁の取付け

調整が完了したら同梱してある額縁を丁番スペーサーの周りに2.5mmの下穴をあけて取付けてください。



7. フランス落しの取付け

両開き扉の場合はフランス落としを扉についているビスを外して取付し、落とし受け固定してください。